

「節 目(ふしめ)」

校長 山浦 麻紀



タケ

花言葉・「strength 強さ 強み」

「節目があるから竹は強い」と言われます。1日に1メートル近く成長することもある竹は、自分自身を支えるために節目を作り、雪が積もった時などは大きく「くの字」になりながら重みや強風に耐えることができます。私たちも同様に節目となる事柄を経験して成長するのだと思います。多くの節目を作りながら柔軟で強い心を持った人になれるよう努力していきたいものです。

3月、学校では本年度のまとめの季節、そして、別れの季節となりました。

学校にもいろいろな節目があります。行事や各学期がそれに当てはまりますが、大きな節目は年度末に訪れます。間もなく学年が一つ進み、1年生は先輩と呼ばれる立場、2年生は最上級生として学校を引っ張っていく立場になります。それぞれに1年間を過ごし、自分の節目を作りながら成長してくれています。

そして、3年生にとっての最も大きな節目は3月13日(金)の第79回卒業証書授与式となります。きっと、きっと、自慢の3年生だからこそ、9年間の義務教育の終了となるこの日、未来に向けて心に残る立派な卒業式を迎えてくれるものと思います。「気品の岸・美の学園」の愛らしい全ての3年生が、自分のよさを伸ばし続け、颯爽と前へ、前へと歩み続けてくれることを願います。

2年生の「卒業生に学ぶ会」では、13名の卒業生に来校していただきました。有り難うございました。身近な先輩が、いつ頃、どんな思いで頑張り抜き、今現在、どうwell-beingに高校生活を送っているのか等、話を聞くことができました。2年生も、目を輝かせて聞き入っていました。嬉しい限りです。

また、1年生は3月8日から館岩少年自然の家での2泊3日の自然体験(スキー教室)が始まります。体調を整え、美しい雄大な自然の中で、自分のよさを発揮したり、仲間のよさを感じたり、存分に楽しんできて欲しいと思います。

今年度も残り僅かとなりました。保護者の皆様方、地域の皆様方、卒業生の皆様方、本当に本当に、本校岸中学校の教育活動に、あたたかい御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。有り難うございました。

諦めない気持ちは、階段になって頂上まで連れて行ってくれるんです。

(ミラノ・コルティナ2026オリンピック フィギュアスケート解説 高橋成美さん)